

令和2年度 すこやかメールマガジン 第722号【地球人のあいさつ】 12月17日配信

はやぶさ2のカプセル帰還成功の明るいニュースに、夜空を見上げた人も多いのではないのでしょうか？そんな折、私は子どもたちの連句を国際宇宙ステーション「きぼう」に届ける「地球人のあいさつ2020」というプロジェクトが進行中であることを知りました。

この活動の以前に、東日本大震災後の2011年5月に宇宙航空システムエンジニアである山中氏は、宮城県女川で出前授業を行いました。深い悲しみの中にいる中学生たちは、同じ思いをしている周りの大人や友達の中で、その心を表現するのにためらいを感じていました。そこで「地球人の一人として、遠い世界や宇宙に向けて、今の心を解き放してみては」と投げかけたそうです。参考・引用：山中勉「空を見上げて」（光村図書中学国語1）

女川の中学生の読んだ上の句に、各地から続々と下の句が届けられました。

上の句「見上げれば がれきの上に こいのぼり」（女川）に対して

下の句「未来への川 登り続ける」（東京）

下の句「あきらめないと 空を泳いだ」（パキスタン）などが寄せられました。

そして、今年2020年新型コロナウイルスの影響による休校期間に、山中氏の「自宅待機中のみんながあいさつを交わす場を創りたいと思います。ウィルスに負けないようにすてきなあいさつを交わしましょう！」という呼びかけでスタートしたのが冒頭のプロジェクトです。

「空を見上げる力」（連句で人と人がつながり合う力）を発揮した子どもたちの作品を紹介します。詳細→https://www.mitsumura-tosho.co.jp/webmaga/kokugo_sora/detail00.html

上の句「ウィルスも 心の距離は 離せない」（中2・埼玉）

下の句「一歩ずつでも また近づこう」（中3・東京）

岩手県で「きぼう」を肉眼で見るチャンスは直近では12月20日5:52~5:58、12月22日5:53~5:59です。「地球人のあいさつ」に思いを寄せつつ、星空を見上げてみませんか。【Y】

☆メルマガへのご感想、アドレス変更・配信停止はこちらへ(^_^)/

kosodatem@pref.iwate.jp

★=====★

【発行】岩手県立生涯学習推進センター

【HP】 <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/manabinetiwate/>

【Twitter】 <https://twitter.com/manabinetiwate>

★=====★

